

令和2年10月26日招集

令和2年第13回
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和2年第13回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和2年10月26日 月曜日
2. 場 所 仁賀保勤労青少年ホーム 視聴覚室
3. 開 会 午前 10時10分
4. 閉 会 午前 10時35分

5. 出席委員 教育長 齋 藤 光 正
委 員 佐々木 郁 子
委 員 吉 泉 聡
委 員 小 松 雅 子
委 員 伊 藤 知

6. 説明のための出席者

教 育 次 長	齋 藤 一 樹
教育総務課長	池 田 智 成
学校教育課長	菊 地 新 吾
生涯学習課長兼図書館長	
兼仁賀保勤労青少年ホーム館長	竹 内 健
仁賀保公民館長	齋 藤 晴 美
象潟公民館長	佐々木 美 和
白瀬南極探検隊記念館長	阿 部 和 久
文化財保護課長	今 野 和 彦

7. 書 記 教育総務課主査 齋 藤 沙 織

8. 会議に付した議案 な し

9. 可決した議案 な し

10. その他の確認事項

- (1) 令和2年第14回教育委員会は、令和2年11月20日（金）午前9時30分から金浦公民館で開催することにした。

1 1. 会議の要旨

【開会 午前10時10分】

【教育長】

これから令和2年第13回にかほ市教育委員会を開催いたします。今回の出席委員は5名であります。日程の第1 会議録署名委員の指名を行います。委員には、佐々木委員と吉泉委員にお願いしたいと思います。書記には、教育総務課の齊藤主査を指名いたします。

それでは、日程の第2 報告に入ります。私から簡単にお話したいと思います。今回の新型コロナの感染拡大によって、皆様もご承知のとおり、イベント・催し物が延期又は中止される事態となり、文化芸術、芸能も含め、あらゆる分野に広く影響を及ぼしました。新聞、テレビ、本などを見ますと、「こんな時だからこそ、人間が生きるうえで芸術がいかに重要であるか気づかされました。」という声が世界中で聞かれるようになりました。特にそのきっかけとなったのは、ドイツの文化大臣の発言でありました。これについては、新聞等で多くの報道がありました。つまり“芸術家、文化産業従事者にも無制限の支援を行うべきである。そして、誰も置き去りにしない”という発言をしまして、そのことが世界中で話題となり、芸術文化に公的な支援の手が差し伸べられています。思えば、いつの時代も芸術文化は、人間にとって無くてはならない「心の安らぎ」又は「心の支え」、「心の栄養」になっている気がします。今こそ、人と人をつなぐ心、感動、心の潤い、豊かさや信仰心、こういうことを大事にしていかなければならないと感じているところです。私からは以上です。

それでは、教育総務課長から順に報告をお願いします。

(教育総務課長から順に報告) 各課からの資料は別添、資料参照

【教育長】

各課から報告がありましたが、これについて詳しく聞きたいこと、ご質問等ありませんか。

(なしの声)

【教育長】

次回の教育委員会定例会は11月20日(金)の午前9時30分から金浦公民館で開催いたします。以上で本日の委員会に提案された議案の審議は終了しましたので、第13回にかほ市教育委員会を閉会いたします。

【閉会 午前10時35分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長

齋藤 光正

”

委 員

依々木 郁子

”

委 員

吉泉 聡

芸術に関する 名言とは？

にかほ市教育長 齋藤 光正

新型コロナウイルス感染症拡大により、あらゆるイベント・催し物が延期・中止する事態となり、文化芸術分野にも大きく影を落としています。

そんな中だからこそ、人間が生きる上で芸術がいかに重要であるかに気づいたといった声も世界中で聞かれるようになっていきます。

特に、ドイツの「モニカ・グリュタース文化大臣」の発言、

～フリーランスの芸術家、文化産業従事者にも無制限の援助を行なう。
アーティストは、今を生きるために必要不可欠な存在である。
誰も置き去りにしない～

が話題になりました。

この発言は、世界的にコロナ感染が広がりはじめた3/11時点でのものであります。日本でも話題になるほど迅速で手厚い内容に、世界からも賞賛の声が上がりました。

このように、欧州では歴史的に芸術は大切にされ、アーティストの社会的地位も高いと言われています。一方、日本における芸術に対する認識は、残念ながら「高価なもの」「遊びや趣味に近いもの」という捉え方が多いようです。

しかし、歴史を振り返ると、日本は欧州に比べて文化的・芸術的な厚みがないわけではありません。日本の文化芸術は、長い歴史と伝統の中で積み上げられてきたものであり、特に、江戸時代の元禄文化は、今も世界的に高い評価を受けているようです。

コロナ禍によって、社会が混乱し、価値観も大きく変わりました。こうした時こそ、活躍できるのは芸術家ではないかと訴えている学者もいます。芸術家は、言語化できない、感情などを可視化したり、抽象的な概念を具現化したりする能力を持っています。さらに、それを多くの人々に共有可能なものとして提示する力があります。

芸術には、絵画、音楽、舞踊など様々な表現があります。しかし、アーティストの直感性、感性、想像力は常に時代を読み取り、社会を活性化させてくれます。

このようなことから、「公的支援」をすべき対象ではないかという議論も出ています。是非、芸術そのものの価値が認められ、大切にされ、幅広い公的支援をお願いしたいものです。

そこで、今まで、私たちを支えてくれた、救ってくれたと言われる「古今東西の文化・芸術に関する名言」を紹介します。

非常時には「命の安全」が優先であるが、いつの時代にも芸術や文化は、人間にとってなくてはならない「心の安らぎ」「心の支え」「心の栄養」でもあります。

1) 太陽がない時に、日の光を創り出すのが芸術の務めだ

～ロマン・ロラン（フランスの作家）

2) 芸術は、日々の生活で溜まったほこりを洗い流してくれる。

～パブロ・ピカソ（スペインの画家）

3) 芸術がないとしたら、現実の粗雑さは世界を耐え難いものにするだろう。

～ジョージ・バーナード・ショー（アイルランドの文学者）

4) 音楽や歌がなかったら、人間は生きていけない。

～芥川也寸志（日本の作曲家）

教育総務課

1. 工事等の発注状況

○象潟スクールバス車庫建築工事

契約者：(株)司工務店

契約金額：¥20,427,000円

工事期間：10月13日～1月22日

工事内容：バス4台分の車庫として、2台分ずつ2棟を新たに建築

2. にかほ市総合教育会議 ※総務部総務課主管

日時：11月5日（木）15：00～

場所：にかほ市役所 象潟庁舎 大会議室

案件：①仁賀保高校との連携について

②にかほ・子ども伴奏（伴奏）プロジェクトについて

3. にかほ市教育委員会評価委員会

日時：11月10日（火）9：30～

場所：金浦公民館 集会室

内容：令和2年度事業についての説明と質疑応答

【対象事業】

No	事務事業名	部署名
1	にかほ市学生生活緊急支援給付金	教育総務課
2	学校生活・学習サポート支援員配置事業	学校教育課
3	市民文化祭	生涯学習課
4	大人のためのほっこり講座「おはなしカフェ」	仁賀保公民館
5	友遊くらぶ	象潟公民館
6	サイエンスカフェ	フェライト子ども科学館
7	本の福袋「おぼんだま」「お年玉」	図書館こぴあ
8	開館30周年事業	白瀬南極探検隊記念館
9	トレーニング室管理運営事業	仁賀保勤労青少年ホーム
10	象潟郷土資料館企画展	文化財保護課

*令和2年度事務事業評価報告書を令和3年9月議会に提出し、市HPで公開する。

◇評価委員会 委員長 伊東 秀一

副委員長 佐藤 正隆

委員 三浦 順子

学校教育課

1. 事業報告

9月下旬 本荘由利中学校秋季大会
優勝：仁賀保中学校サッカー部
仁賀保中学校柔道部男子個人

9月29日～10月7日 学校訪問

10月 3日（土） 各中学校学校祭 仁賀保中のみ4日（日）も開催
10月 9日（金） なかよし交流会
10月12日（月） にかほ市校長会
10月14日（水） 企業とのふれあいPR事業（仁賀保中）
10月18日（日） 全県サッカー大会 優勝：仁賀保中学校サッカー部
10月23日（金） 企業とのふれあいPR事業（象潟中）

2. 事業計画

10月28日（水） 就学時健診（象潟）
10月30日（金） 企業とのふれあいPR事業（金浦中）
11月 2日（月） 教育支援委員会（象潟）
11月 4日（水） 本荘由利校長会
11月10日（火） 本荘由利地区教育長会議
11月11日（水） 教育支援委員会
11月19日（木） 部活動指導員説明会

生涯学習課・金浦公民館

1. 事業報告

9月28日(月)	指でくるくる心ほっこり*和みアート	参加6人
9月28日(月)	0歳からのお片づけレッスン	参加10人
10月10日(土)	ほんわっカフェ	
10月10日(土)	浜っ子クラブ ボッチャ	参加10人
10月19日(月)	指でくるくる心ほっこり*和みアート	参加5人
10月23日(金)	子育てサークル「まんまある」	

2. 事業計画

「市民文化祭」

【展示部門】 10月24日～来年3月31日

各公民館ギャラリー及びJR仁賀保駅ギャラリーへ展示

【発表部門】 10月31日、11月1日

仁賀保勤労青少年ホーム 無観客開催 オンライン配信

10月30日(金)	生涯学習奨励員研修	院内油田
11月3日(火)	浜っ子クラブ	西国三十三番観音めぐり
11月10日(火)	ほんわっカフェ	
11月13日(金)	県生涯学習・社会教育委員研究大会	
	オンライン開催	仁賀保ホーム
11月16日(月)	指でくるくる心ほっこり*和みアート	

※ 11/22(日) クラシック音楽をあなたと 中止決定

図 書 館・仁賀保勤労青少年ホーム

1. 事業報告

【図書館】

9月28日(月) 県立図書館出前研修会(読み聞かせの仕方) 参加8人

テーマ展示

こびあ 「情緒豊かに描き出す秋景色～ひとつひとつ拾い集めてみませんか」

「色づく秋色にほっと一息～本で芸術を～」

仁賀保分館「美味しい！」の誘惑には勝てません！

象潟分館 「 秋 まんさい☆えほん」

【仁賀保ホーム】

10月1日(木) トレーニング新規利用者講習会 参加9人

10月1日～12月6日 にかほミュージアムスタンプラリー2020

8月25日～11月15日 仁賀保金七郎関連資料の現物展示(4点)

2. 事業計画

【図書館】

11月3日(火)～16日(月) リサイクルブックフェア(市内3図書館)

【仁賀保ホーム】

10月31日(土) にかほ市民文化祭 音楽祭

11月1日(日) にかほ市民文化祭 芸能祭

11月5日(木) トレーニング新規利用者講習会

仁賀保公民館

1. 事業報告

9月28日(月)・29日(火)	パソコンの困った解決講座	参加者 13人
10月 1日(木)	カラダ元気！講座「月いち脳トレ筋トレコース」④	参加者 9人
3日(土)	ニカホ再発見！自然観察会③「中島台」	参加者 19人
7日(水)	「クリスマスリース」をつくりました！②	参加者 10人
10日(土)	元気のでる古典講座「万葉集」②「国造りの陰に生きた皇子・皇女達」	参加者 25人
14日(水)	むらすぎ学園「移動研修」秋田市・潟上市	参加者 39人
15日(木)	カラダ元気！講座「月いち脳トレ筋トレコース」⑤	参加者 7人
16日(金)	にかほ市女性団体協議会「移動研修」秋田市・潟上市	参加者 30人
17日(土)	キッズユートリック「ミステリーバスツアー」	参加者 10人

2. 事業計画

10月30日(金)	パソコン講座「活用編」④
11月 5日(木)	カラダ元気！講座「月いち脳トレ筋トレコース」⑥
13日(金)	伝統食料理教室②
14日(土)	元気のでる古典講座「万葉集」③
18日(水)	むらすぎ学園「講話」
19日(木)	カラダ元気！講座「月いち脳トレ筋トレコース」⑦
24日(火)	みんなだいすき！おかしづくり教室①
27日(金)	パソコン講座「活用編」⑤
28日(土)	元気のでる古典講座「万葉集」④

象潟公民館

1. 事業報告

- ・10月 3日(土) ニカホ再発見! 自然観察会 中島台 19人
(仁賀保公民館との共催事業)
- ・10月 5日(月)～6日(火) パソコンパワーポイント講座 6人
- ・10月13日(火) 白寿大学「教養講座」 83人
- ・10月24日(土) 友遊くらぶ「鳥海山にブナを植えよう」 子ども8人
保護者2人

2. 事業計画

- ・11月10日(火)～12日(木) パソコンエクセル講座
- ・11月17日(火) 白寿大学「紙芝居と昔がたり」
- ・11月23日(月・祝) 友遊くらぶ「ディスクゴルフ」

フェライト子ども科学館

1. 事業報告

○入館者数の実績

	R2	R1	前年同期 比%	説 明
4～9月計	1,251	27,781	△95.5%	臨時休館:2/29～8/2(新型コロナ対策、エントランス修繕工事)
うち9月	699	3,605	△80.6%	団体再開:9/1～

○新型コロナウイルス対策について（10月）

- ・開館：火・水・木・金・土（休館：日・祝日・月）
- ・館内の人数制限：25人
- ・滞在時間：45分（15分消毒・換気）
- ・入館者への要請：記録票記入、マスク着用、検温の協力、手指消毒等
- ・実験工作教室等の休止

○10月7日（水） 3Dプリンター教室（仁賀保高校 情報メディア科）

○10月22日（木） 「発明工夫・未来の科学の夢絵画展」審査会

2. 事業計画

○10月31日（土） 3Dプリンター教室（一般コース）

○10月31日（土）～12月25日（金） 発明工夫・未来の科学の夢絵画展
※10月31日（土） 表彰式

白瀬南極探検隊記念館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績

単位：人，％

	R2	R 元	増減	説 明
4～9 月 計	2,791	7,659	▲63.6	4,5 月 臨時休館
うち 9 月	744	1,357	▲45.2	
10 月の状況	・団体の入館が順調で、前年同月並みの入館者数になっている。 ・コロナ対策により入館者数の制限を行っており、今月の団体受け入れに伴う入館制限（貸切対応）回数は7回。 ・県外からの入館者は3割前後で推移している。			

(2) にかほミュージアム「スタンプラリー」

期間：10月1日（木）～12月6日（日） ※実施中

対象：にかほミュージアム5館

特記：＊期間中は全館入館無料（TDK 歴史みらい館は常時無料）

2. 事業計画

(1) 企画展「白瀬臺を生んだ金浦」

期間：11月3日（火）～

場所：展示室内

内容：金浦の文化、風土等から、希代の探検家白瀬臺のバックボーンを探る。

特に、佐々木節斎の資料や幕末から明治への時代の大きな移行期の歴史資料を展示し、当時の白瀬に与えた影響を考察する。

(2) 開館30周年記念事業（通年実施）

①記念誌の発行

- ・現在編集作業中で、11月中の発行予定。

②白瀬南極探検隊員親族調査事業

- ・NPO 白瀬南極探検 100 周年記念会への委託事業で、調査活動を実施中。
- ・親族等交流会を11月29日に船橋市で実施予定だったが、コロナの影響により中止を決定。

(3) 名古屋港「ふじ」35周年・白瀬記念館30周年合同祝賀会（仮称）

期日：11月下旬（現在調整中）

内容：南極OB会（全国・各支部）主催によるオンラインによる交流を実施（詳細についてはOB会と名古屋支部を中心に検討中）。

文化財保護課・象潟郷土資料館

1. 事業報告

入館者数の実績

	R 2	R 元	比較	増減率	説 明
4～9月 計	681 人	1,629 人	△948 人	△58.2%	4月、5月臨時休館
うち9月	217 人	307 人	△90 人	△29.3%	

2. 事業計画

- 10月30日（金） オリジナルフレーム切手池田修三木版画第二集「ふたあり」発売
販売場所 秋田県内54郵便局、日本郵便ネット販売
市内公共施設 象潟郷土資料館、白瀬記念館、仁賀保勤労青少年ホーム（5館連携スタンプラリー開催中）
- 11月16日（月） 獅子ヶ鼻湿原緊急調査
～18日（水） 鳥海マリモ生育状況調査、コケ類分布調査
- 11月17日（火） 郷土史研究会県外研修 松山文化伝承館ほか
- 11月25日（水） 文化庁調査官との獅子ヶ鼻湿原緊急調査に関する協議及び現地調査
～26日（木）



にかほ市の宝もの
池田修三
木版画 第二集

ふたあり



池田修三(1922～2004)は秋田県にかほ市象潟町出身の木版画家です。

